# 第２学年Ｂ組　英語科授業案

場　　所　２Ｂ教室
授業者　天野 万喜男

１　単　元　　Is Sushi “*Washoku*”？　(Life in the World)

２　単元の構想

（１）めざす子どもの姿

すしが、アメリカではカリフォルニアロールなど形を変えて受け入れられていることを知った子どもは、すしとsushiとの違いを明らかにしようとする。世界のsushiについて追究する中で、いろいろな外国の人から聞き取りをし、日本人と外国の人との和食のとらえや、すしとsushiの考え方の違いがあることを知る。食文化について、オリジナルのもの、海外へ出て形が変わったもの、両方を認め、そのよさを大切にしていきたいと考える。日本政府の「クールジャパン戦略」の一環として食文化を広める成長戦略に対して意見をまとめ、提案文書を送る。

（２）英語科としての学び

１年生の３学期に子どもは、日本人として大切にすべき和の精神について追究した。そして、和とは、日常生活や外国の方と接する際に忘れてはならないことであると考えた。しかし、抽象的な内容だったため、生活にかかわっているという実感をもたせることができなかった。そこで、具体物をもとに意見を交わし、世界に広まる日本文化を見つめ直させたいと考えた。

本単元では、すしとsushiの違いに着目することで、食文化を新たな視点で見つめる。海外に広まったsushiは、日本のすしとは違っていることから、世界での食文化の広がりを考える。そこで海外での様子を知る必要があると考える子どもは、実態を知るために外国人との交流を図る。その国独自の文化が、一旦国外へ出るとさまざまに形を変える。独自の文化とは何か、外国の文化を受け入れることとは何かを考える機会となる。

意見交流をする中では、食の歴史や経緯などを説明するために、過去形や不定詞の用法を身につける。また、理由を述べるために、I think that ～.やbecauseなどの接続詞を使った重文を使う。使いたい文法を自ら獲得しながら、マレーシアからの親善訪問団の中学生や外国の方々と意見交流する際に、まとまった英文で伝えられるようにする力を伸ばす。また、アイコンタクトやジェスチャーを交えて話をする力も伸ばす。

（３）子どもが「学んだこと」を見つけ出すための教師の営み

PROSPECTの段階では、カリフォルニアロールを紹介することで、子どもは日本のすしとは違った形のsushiが世界で広まっていることに気づく。世界ではすしがどのような形に変わって受け入れられているか知りたいと考えた子どもは、世界のsushiの現状を調べ始める。

PROGRESSの段階では、子どもは文献やインターネットによる調査だけでなく、親善訪問団として来校するマレーシアの中学生や近隣の外国の方々などから実際の様子を聞く。意見交流の場面では、外国のsushiが和食と呼ばれていることについての是非に焦点化する。その中で、日本との違い、すしの起源は東南アジアであること、日本にも形を変えた外国由来の料理があることなどの意見をとりあげることで、子どもは、マレーシアなど外国でも同じような食文化の変化が起きていないか調べてみたいと考える。その一方で、すしをはじめとした日本料理に携わる方にも意見を聞きに行く。オリジナルの食文化は、どの国へ行ってもその国の食文化と融合して受け入れられていることに気づいた子どもは、外国に出た和食を認めつつ、あらためて和食のよさを見つめ直す。

PROCEEDの段階では、どんな食文化も受け入れるべきだという意見に対して、日本が和食の世界遺産登録を申請していることに焦点化して話し合うことで、オリジナルはオリジナルで大切にしなければならないという考えを引きだす。あわせて、日本政府の「クールジャパン戦略」の一環として、食文化を広める成長戦略があることを知った子どもは、意見をまとめ、提案文書を送る。最後に、今回の追究をとおして実感し考えたことを、意見交流の場で出し合うことで、食文化をとらえる視点を整理し、今後の日本の食文化のあり方を考える。

## 5　単元構想表（15時間完了）

【第10時終了時】

| 段階 | 主なはたらきかけ | □ 思い・考え　■ 「学んだこと」　⌄ 子どもの行動 | 英語科で重視する力の育ち |
|---|---|---|---|
| PROSPECT | 海外に広まっているsushiについて考えるきっかけとするために、**カリフォルニアロールを紹介する** | 「和」の追究をした。もっと日本らしさを大事したい<br>日本は外国にどう受け入れられているのか知りたい<br>sushiは海外にどのように広まっているのか知りたい　１～２時<br>外国のsushiと日本のすしは違う<br>カリフォルニアロールは人気が高い<br>アメリカ以外でも食べられている<br>**California Rollなどの世界に広がるsushiと日本のすしの違いを調べなければならない** | ☆Strategic competence<br>意見発表、意見交流のために必要な表現をＥＢとしてまとめ、使えるようにする |
| PROGRESS | 話題を焦点化するために、**海外で広まるsushiを和食と呼ぶことの是非を考えさせる**<br>食文化についての視野を広げて考えられるようにするために、**日本の料理の中にも外国由来のものがあるという意見を取り上げる**<br>追究をまとめさせる視点として、**「和食とは何か」をテーマに意見交流させる** | 世界に広がるsushiと、日本のすしの違いを明らかにする<br>３～11時（本時11）<br>アジアのすしは、日本のすしの起源だ<br>すしとsushiは別のものだ<br>生魚はあまり食べないと聞いた<br>sushiは世界で食べられている。世界の現状を知る必要がある<br>日本で広まる食べ物の中には、外国に由来するものがある<br>美しさや健康的であることが和食の代名詞になっている<br>国によってもともとの食文化に大きな違いがある<br>日本に入ってきた食べ物も形を変えて受け入れられてきた<br>日本本来のすしのよさを外国の人に知ってもらいたい<br>食文化は広がった先で改良され、新たな食文化となる<br>**sushiは日本のすしとは形は変わったが、和食のすばらしさは伝わっている。世界に出た和食を「新たな和食」として認めつつ、もう一度本来の和食のよさを見つめ直さなければならない** | ☆Sociolinguistic competence<br>・意見を述べる際にまとまった英文で伝える<br>・アイコンタクトやジェスチャーを使って会話する<br>☆Discourse competence<br>複文・重文を意識して意見を述べる<br>☆Grammatical competence<br>I think that ～. やThat is because ～.といった接続詞の使い方を身につける |
| PROCEED | 「世界における和食」を再認識できるように、**日本が世界遺産申請にうしていることについて話し合う**<br>食文化をとらえる視点を整理するために、**これまでの学びを交流振り返る意見をする** | すしや和食のよさを見つめ直す<br>12～15時<br>四季をテーマとした和食の美しさに感嘆していた<br>和食の文化をわかってもらえた。世界中の人に伝えたい<br>天ぷらやすきやきなど、多くの和食が受け入れられている<br>繊細さ、美しさは、和食の特長だ。今後も大切にしたい<br>日本文化の代表として、和食のよさをもっと伝えていきたい<br>高級なものばかりでなく、安価な、庶民的な味も伝えたい<br>**和食は、日本で守っていくべきものである一方、海外へ出ると形を変えて発展している。食文化は、自国内でも、そして海外へ出ても、両方を大切にしていきたい**<br>世界に広がる和食や、世界から日本へ入った食文化をさらに調べる<br>和食のよさをもっと世界へ広めたい<br>食文化以外にも受け入れられている日本の文化を知りたい | |

## 4　本時の構想（11/15）

世界に広がったsushiの代表として扱われるカリフォルニアロールの存在を知った子どもは、はたしてカリフォルニアロールを和食と呼んでよいのか調べ始めた。そこから、日本のすしと世界のsushiの違いを明らかにしなければならないと考え、外国の人や日本料理に携わる人から聞き取りを行った。世界に広がるsushiや和食の文化の現状を調べる一方で、日本にも外国由来の食文化が根付いていることに気づいた子どもは、自国から外国へ出た食文化も大切にしたいと考えるようになっている。

本時は、「What is “*Washoku*”?」をテーマに話し合う。外国の人、日本料理・すし屋さんなど、さまざまな人から聞き取った結果をもとに意見をまとめた子どもは、味、見た目、材料といった視点をもとに考えを整理する。そして、日本から見た和食のよさと外国の人から見た和食のよさ、双方を認めることが大切であると気づく。

| はたらきかけ | 思い・考え　「学んだこと」　子どもの行動 |
|---|---|
| | **California Rollなどの世界に広がるsushiと日本のすしの違いを調べなければならない**<br>世界に広がるsushiと、日本のすしの違いを明らかにする |
| **①和食のよさを、味、見た目、材料といった視点に分けて板書することで、視点を明確にした意見が出せるようにする**<br><br>**②食文化に焦点化して話し合いを行うために、「和食は日本から出た先の国々で改良され、新たな食文化となっている」と考える[redacted]の意見、そして、「新たな文化でもあるが、大好きな伝統的な日本の食文化を世界に紹介したい」と考える[redacted]の意見を取り上げる** | What is “*Washoku*”?<br>①<br>Taste<br>Foreign meals are not delicious.<br>↕<br>*Washoku* is delicious.<br>Looking<br>Foreign meals are too bright.<br>↕<br>*Washoku* is beautiful.<br>Ingredients<br>*Washoku* is made by Japanese food and seasonings.<br>↕<br>Japan import many foods from many countries.<br>↕<br>Some foreign meals have same good points.<br>Other<br>We can enjoy four seasons with *Washoku*.<br>*Washoku* is traditional meal.<br>Foreign people think *Washoku* is healthy.<br>②<br>They are changed in each country in the world. I think sushi will become a new type of food culture.<br>California Roll and Monkey Roll are new Washoku, new culture. I like Japanese traditional sushi, so I will introduce it to the world.<br>I want many forigner to eat Japanese food, *Washoku*.<br>I want to introduce Japanese ideal *Washoku*.<br>We have to know *Washoku* abroad is also *Washoku*, but we never forget our original *Washoku*.<br>**sushiは日本のすしとは形は変わったが、和食のすばらしさは伝わっている。世界に出た和食を「新たな和食」として認めつつ、もう一度本来の和食のよさを見つめ直さなければならない**<br>すしや和食のよさを見つめ直す |